

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから

宮崎県拠点だより

事例紹介
ファイルNo.1

持続可能な農業に向かって!!

地域農業の活性化

～スギ皮を使った高品質な堆肥の開発～

宮崎県は、スギ丸太生産量が33年連続で日本一、畜産の農業算出額は全国第3位です。

平成16年に設立した(有)エコロ（日向市）では、林業の課題（バーク処理）と畜産業の課題（ふん尿処理）を同時に解決した理想的な産業モデルとして、地域の未利用資源であったスギ皮バークと家畜ふんを原料とした高品質堆肥を開発・製造しています。特に農家向けの肥料は、農地の土壌診断を行い、その土壌（ほ場）に合ったオーダーメイドの肥料を提供し、好評を得ています。

海外からの輸入原料に依存した肥料から、国内資源を活用した肥料への転換を図るため、これまで処分されていた地域資源を有効活用し、効率的に資源循環を推進する持続的な農業の発展を目指しています。

また、親会社である(株)内山建設は、日向市の特産品である「へべす」栽培に取り組む、(株)ひむか農園を令和元年に設立しました。同農園では農地中間管理事業等を活用して遊休農地を再生し、地域農業の活性化にも繋がっています。この「へべす」栽培には、(有)エコロの堆肥を施用し、品質や収量が向上するなど実績を上げています。

有限会社エコロ
代表取締役 内山 雅仁 氏上段:ネット販売用の小袋
下段:ホームセンター等で販売する大袋

遊休農地を再生する(株)ひむか農園の「へべす」栽培



肥料製造現場(バークと堆肥を混合)

フラッグシップ輸出産地の認定証授与

8月8日、オーガニックティーミヤザキの皆さん(県内18の茶農家等の輸出用荒茶生産組合。代表小浦武士氏)に、フラッグシップ輸出産地の認定証を授与しました。

フラッグシップ輸出産地は、農畜産物を輸出している産地のうち、海外の規制やニーズに対応して継続的に輸出に取り組み、輸出取組の手本となる産地を農林水産大臣が認定する制度です。

応募の中から、全国で42産地を選定し、このうち宮崎県からは3産地が選定され、(株)くしまアオイファーム(かんしょ)、みかん輸出コンソーシアム(かんきつ)は、8月5日に九州農政局で認定証を授与されました。



オーガニックティーミヤザキの皆さんと
宮崎県拠点の菊池地方参事官(前列左から2番目)

授与式の様子は、MRTとUMKのニュースで放映されました！



マスコミの取材を受ける
代表の小浦武士氏



授与式後の意見交換会

ノウフク・アワード2024 募集中！ ～みんなで耕そう！人・地域・未来の豊かな循環～



ノウフク・アワード 2024

農林水産業 × 福祉 = ノウフク

多様で魅力的なノウフクの取組を募集します。

エントリー受付中！

【応募期間】
2024年 7月26日(金)～9月30日(月)

農林水産省は、農福連携に取り組んでいる優れた事例をノウフク・アワードとして表彰し、他地域への普及を推進しています。

農林水産業と福祉等の多様な人材が連携し、障害者等(高齢者や生活困窮者、ひきこもりの状態にある者、犯罪をした者等を含みます。)が農林水産分野で能力を発揮することによって、農林水産業と福祉が抱える様々な課題の解決、障害者等の社会参画、地域活性化の実現に貢献している団体等を対象とします。

2021年には、宮崎市の一般社団法人STEPUP CoCoRo事業所が優秀賞を受賞しています。

今年度も、「ノウフク・アワード2024」として9月30日(月)まで募集しています。

●●● 詳細はこちらからどうぞ 🍗🍗🍗



編集後記 🌿

8月8日に日向灘沖で発生した地震により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

先日、穆佐城跡(宮崎市高岡町)と都於郡城跡(西都市)などを巡りました。宮崎県には中世の山城が多く、現在までに550以上の城跡が確認されているそうです。城(跡)を訪れると、自然の地形を巧みに活かした城郭に感心するばかりです。かつて武士が割拠したことをイメージしながら歴史のロマンを感じてはいかがでしょうか。(S)

●本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

●宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985-24-2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17